

商 標 顕 著 性 事 典

クラウド版 マニュアル



目次

A. レイアウトの説明	P1
1. はじめに	
2. 各データの内容について	
3. ボタンの説明	
B. 検索方法	P5

A. レイアウトの説明

1. はじめに

本データベースは「帳票形式」で作成されています。

最初に開くのは「一覧閲覧」画面です。1データ1行の形で表示されています。
本データベースでは、この1データを「1レコード」と表示することがあります。
レイアウトとしては、他に

- ・「個別閲覧」 → 1データ1画面の形で表示されています。
- ・「一覧検索」 → 検索画面です。検索結果は「一覧閲覧」の形で表示されます。
- ・「個別検索」 → 検索画面です。検索結果は「個別閲覧」の形で表示されます。
- ・「印刷レイアウト」 → 「3条一般」、「3条本文」「図形」「新商標」の4つのレイアウトがあります。

画面上部のボタンから移動する形式を採っています。

2. 各データの内容について

「一覧閲覧」画面を例として、説明していきます。

①「チェック」欄

お客様がデータを検索後、必要な審決を抽出するときに使用します。

ボタンを押すと、チェックを付けた審決のみ表示されます。

この状態を解除する場合は、 のボタンを押してください。

②「◆」欄

自他商品役務識別力ありと認められた商標については◆印を付しています。

③「部門」欄

審決における商品・役務の内容により

化学部門（国際分類第1～5類、日本分類第1～5類）

機械部門（国際分類第6～13類、日本分類第6～13・34類）

繊維部門（国際分類第22～27類、日本分類第14～17類）

雑貨部門（国際分類第14～21・28・34類、日本分類第18～27類）

食品部門（国際分類第29～33類、日本分類第28～33類）

役務部門（国際分類第 35～45 類）
に分類しています。

④「項目」欄

審決の内容から各項目に分類しています。

普通 = 普通名称・慣用標章（1、2号）

品質 = 品質・原材料・形状表示用語（3号）

品位 = 品位・誇称表示用語（3号）

産地 = 産地・販売地表示用語（3号）

色彩 = 色彩表示用語（3号）

記号 = 数量・記号表示用語（3号）

4号 = ありふれた氏姓、名称

5号 = 簡単かつありふれた標章

6号 = 上記以外の識別力がない商標

図形 = 識別力のない図形商標

誤認 = 品質誤認を生ずる商標

特殊 = 普通に用いられる態様

3条2 = 使用による顕著性（3条2項）

3条本文 = その他、第3条に関する審決

立体 = 立体商標

新商標 = 色彩・音・位置・動き・ホログラムからなる商標

⑤「対象部分」欄

自他商品役務識別力を有するか否かが問題となった部分を指します。

⑥「原商標」欄

審決における本登録商標・本願商標をいいます。「対象部分」と同一の場合は「対象部分」と同じ内容が表示されています。

⑦「類」欄

数字の前にあるアルファベットはそれぞれ

K = 国際分類

N = 日本分類

O = 旧分類

を意味します。

⑧「審判番号」欄

審判年、審判の種類、審判番号の順番に並んでいます。

⑨ 「審決日」 欄

審決年、審決月、審決日の順番に並んでいます。

⑩ 「公報番号」 欄

公報番号、公報頁の順番に並んでいます。なお、西暦 2000 年以降の審決公報については、データの形式での審決を参考にしていきますので、公報頁がありません。（例えば、「2000-2」とあるのは、西暦 2000 年 2 月号を意味します。） ご了承下さい。

⑪ 「理由」 欄

審決の理由を要約しています。

⑫ 「図形」 欄 ・ ・ ・ 個別閲覧画面参照

原商標が図形を含む場合、「図形」欄にイメージデータとして入力しています。

3. ボタンの説明

「一覧閲覧」「個別閲覧」に表示されているボタンから説明していきます。

① 「一覧閲覧」「個別閲覧」画面上部

- ・ **化学** **機械** 等のボタン → 各部門に属する審決を抽出します。
- ・ **本製品について** → 当社の連絡先等が記載されています。
- ・ **終了** → 本データベースを終了するときには、必ずこちらを押してください。

② 緑色ボタン

- ・ **個別閲覧へ** → 「個別閲覧」画面へ移動します・・・「一覧閲覧」画面
- ・ **一覧閲覧へ** → 「一覧閲覧」画面へ移動します・・・「個別閲覧」画面
- ・ **全レコード表示** → データベース内の全レコードが表示されます。
チェックが付いていたレコードはチェックが解除されます。
- ・ **印刷実行** → ブラウザからではなく、一旦、pdf に変換されます。
- ・ **データコピー** → コピーしたい部分を選択しボタンを押すと、お客様のパソコン上のクリップボードにコピーされます。
- ・ **このレコードを対象外に** → このボタンを押すと、カーソルが置かれているレコードが画面から除外されます。レコード自体は削除されません。（個別閲覧画面では、今表示されているレコードが除外されます。）
- ・ **新規検索一覧モード** → 検索画面です。
検索結果は「一覧閲覧」の形で表示されます。

- ・ **新規検索個別モード** → 検索画面です。
検索結果は「個別閲覧」の形で表示されます。
- ・ **絞込検索** → 一旦検索した結果をさらに絞込みたいときに用います。
このボタンを押すと検索画面へ移動します。
- ・ **チェック絞込** → チェックを付けたレコードのみ抽出します。
- ・ **全チェック解除** → チェックを解除し、データベース内の全レコードが表示されます。

③ 黄緑色ボタン

- ・ **審決日昇順** → 審決日が古いものから順番にソートされます。
- ・ **審決日降順** → 審決日が新しいものから順番にソートされます。
- ・ **類昇順** → 国際分類第1類から順にソートされます。国際分類→日本分類→旧分類の順番になります。

「印刷レイアウトボタン」について説明します。レイアウトは書籍版「商標顕著性事典」と同じ形になっています。

- ・ **3条一般** → 「普通」「品質」「品位」「産地」「色彩」「記号」「4号」「5号」「6号」「誤認」「3条2」向けに用いるレイアウトへ移動します。
- ・ **3条本文** → 「3条全般」向けに用いるレイアウトへ移動します。
- ・ **図形** → 「図形」「特殊文字」「立体」向けに用いるレイアウトへ移動します。
- ・ **新商標** → 色彩、音、位置等、「新商標」向けに用いるレイアウトへ移動します。

「一覧検索」「個別検索」に表示されている **検索条件追加** ボタンは、「OR検索」を行うときに使用します。使い方については、p7をご覧ください。

B. 検索方法（検索画面の使い方）

1. 識別力の有無を検索したい場合

a. 「識別力あり」を検索する場合

「◆」欄に「◆」と入力し（プルダウンで入力できます）、**検索実行** ボタンをクリックすると顕著性ありのデータが表示されます。

b. 「識別力なし」を検索する場合

「◆」欄に「=」（イコール）と入力し（プルダウンで入力できます）、**検索実行** ボタンをクリックすると識別力なしのデータが表示されます。

2. 「部門」で検索したい場合

方法1：「一覧閲覧」「個別閲覧」画面の上部にある **部門** ボタンをクリックすると、部門別のデータが表示されます。

方法2：検索画面では、「部門」欄にカーソルを持っていき、調べたい部門を選んで（化学部門の場合は「化学」）**検索実行** ボタンをクリックすると、該当部門が表示されます。

3. 「項目」で検索したい場合

方法1：「一覧閲覧」「個別閲覧」画面の上部にあるボタンをクリックすると、項目別のデータが表示されます。

方法2：検索画面では、「項目」欄にカーソルを持っていくと、各項目が選べるようになっているので、調べたい項目を選んで **検索実行** ボタンをクリックしてください。

4. 「対象部分」で検索したい場合

事例1：「スーパー」を含んだ商標を選ぶ

「対象部分」欄にカーソルを持っていき、「スーパー」（全角でも半角でも OK）を入力後、**検索実行** ボタンをクリックすると、「スーパー」を含む商標が抽出されます。但し、この場合「SUPER」「すーぱー」といった片仮名以外の文字で表されているものは選択されません。

これらの文字も選択したい場合は、

①「スーパー」を入力後、**検索条件追加** ボタンをクリックすると、2 段目が表示されます。2 段目の「対象部分」欄に「SUPER」と入力します。

（大文字小文字を問わないので「SUPER」と入力すれば「Super」「super」も抽出されます。）

②さらに、**検索条件追加** ボタンをクリックし、「対象部分」欄に「すーぱー」と入力

します。

(長音は長音でのみ入力されていますので、「すうばあ」という語を含んだ商標を検索するのであれば「すうばあ」という条件も必要となります。)

③ここで **検索実行** ボタンをクリックし、検索結果を表示させます。

⇨ この検索方法を「**OR検索**」といいます。

事例2：「ハイ」及び「エース」を両方含んだ商標を選ぶ

「対象部分」欄にカーソルを持っていき、「ハイ」(全角でも半角でもOK)を入力後、スペースを1つ空けて「エース」と入力(「ハイ エース」という形になります)。ここで **検索実行** ボタンをクリックすると、「ハイ」及び「エース」を含む商標が表示されます。

⇨ この検索方法を「**AND検索**」といいます。スペースを1つ開けることで、絞り込みはいくつでも可能です。

(「OR検索」の欄で説明したように、「HI」「Hi」「ACE」「Ace」「はい」「えーす」を含む商標を含める場合は、**検索条件追加** ボタンを利用してください。

⌘ 検索する際のポイント ⌘

欄内に「スーパー」や「ハイ」と入力した場合は、基本的には「前方一致」検索の扱いとなります。「〇〇スーパー」や「〇〇エース〇〇」を検索したい場合は、前後に「* (アスタリスク)」を付して、中間文字が検索できるように入力してください。

5. 「類」で検索したい場合

「類」欄にカーソルを持っていくと、各類が選べるようになっているので、調べたい類を選び **検索実行** ボタンをクリックすると、類別のデータが表示されます。

6. 「審判番号」又は「公報番号」で検索したい場合

「審判番号」又は「公報番号」欄にカーソルを持っていくと、数字が入力できるようになっています。調べたい審判番号又は公報番号を入力し **検索実行** ボタンをクリックすると、該当データが表示されます。

7. 応用編：国際分類第9類で「ホワイト」が付く商標を選ぶ(事例3)

①まず、「類」欄に「K09」と入力します。

②同行の「対象部分」欄にカーソルを持っていき、「ホワイト」と入力します。

③ここで **検索条件追加** ボタンをクリックし、「類」欄に「K09」、「対象部分」欄に

「WHITE」と入力します。

- ④ 「ほわいと」が付く商標も含めたい場合は、さらに、**検索条件追加** ボタンをクリックし、「類」欄に「K09」、「対象部分」欄に「ほわいと」と入力します。
- ⑤ **検索実行** ボタンをクリックし、検索結果を表示させます。

8. その他

- ① 検索画面上部にある「+ / = ▼」欄をクリックすると、検索に利用できるさまざまな記号が出てきます。例えば「@」は任意の1文字として利用できます。
- ② 検索画面上部にある「実行」ボタンは使用しないでください。異なるデータ結果が出る場合があります。
- ③ 検索をした結果「該当データなし」と表示された後、「閲覧モード」に戻ってもデータが全く出てこない場合があります。その場合は **全レコード表示** ボタンを押してください。データが復帰します。

9. クイック検索について

検索画面ではなく、閲覧画面の右上部に「クイック検索」という欄があります。これは、クラウド版作成の元となっている **FileMaker** 特有の機能になっています。検索画面には「クイック検索」はございません。

「クイック検索」では、入力したキーワードと一致するものだけが結果として抽出されません。

例えば、「super」と入力した場合、「対象部分」「原商標」「理由」部に「super」が含まれている審決が抽出されます。

「super gold」(文字間にスペースを入れる)と入力した場合は、「対象部分」「原商標」「理由」部に「super」と「gold」が含まれている審決が抽出されます。(and 検索になります。)

「クイック検索」欄にキーワードを入力後、「Return」又は「Enter」キーを押すと検索が実行されます。

ちなみに、検索モードで使用できる「*」や「=」の記号はサポートされていません。

「一致するレコードがありません」といった結果になるのでご注意ください。

「super」「スーパー」のように、欧文字及びカタカナで検索したい場合は、検索モードに入っていただき、「検索条件追加」ボタンを使って検索した方が、より広い検索結果が得られることとなります。

商標 顕著性事典 クラウド版マニュアル(260310) Copyright © 1999,2026 (株)パテントジャパン

(株)パテントジャパン
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-20
第3 虎の門電気ビルディング 8階
TEL:03-6206-6426 FAX:03-5860-9407
URL:<http://www.patentjapan.jp> MAIL:ask@patentjapan.jp

